

谷本善臣 おしむらひ 國學者。文化十四年十一月二十八日京都生れ、明治四十四年十一月十六日歿（八二七一—九二二）。幼名松彦、通稱種松、種万都、種繁、二郎、外記、大和介。號董壺、靖居、やすらか靖齋、靖齋陳人。伴信友に學ぶ。文久二年山陵修補御用掛となり、山陵調査、修復に努め、翌年 天皇より恩賜。慶應二年諸陵助、明治二年皇學取調御用掛として昌平土坂學問所へ出仕。その後、國史考覈御用掛、教導局御用掛、大學中博士と経て、八年修史館に入り、南朝史實の研究に従事。

著書に、『嵯峨野之露』（明治三十五年九月五日青山堂書房）、『南正平の御はらからし』（靖齋陳人善臣名、内題「正平皇兄第一嵯峨野之露後付」明治三十六年十月九日、無刊記）、『張慶院歌瀧のまら玉』（明治三十六年十一月五日青山堂書房）等。